

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	社会保障情報・調査研究費		担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度		担当課室	総務課		課長 鈴木 剛		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各種の国際基準に基づき、毎年度の社会支出総額や政策分野別データの集計及び国際比較分析を行うとともに、社会保障給付費総額や機能別・制度別データ及び財源データの集計を行い、併せて、過去からの時系列データの整備を行うことを通じて、わが国における社会保障制度の現状やこれまでの推移、国際比較の動向を示す基礎的なデータを提供する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OECD基準に沿った社会支出総額及びGDP(国内総生産)に対する比率、政策分野別にみたデータなどの集計及び国際比較</li> <li>・ILO基準に沿った社会保障給付費総額や機能別(高齢、障害、保健医療などの区分)、制度別(年金、医療、介護などの制度区分)にみたデータ、及び財源データの集計</li> <li>・過去からの社会支出及び社会保障給付費等に関する時系列データの整備</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	3	3	3	3	3	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	3	3	3	3	3		
	執行額	3	3	3				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	外部委員により構成される、当研究所の研究評価委員会の総合評点をもって成果実績とする。(5=特に優れている、4=優れている、3=良好、2=やや劣っている、1=劣っている)			-	3.9	4.5	4.5	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動(事業運営)に関しても上記の研究評価委員会の総合評点の中に考慮されているため、これを準用することとする。			-	-	-	-	-
単位当たりコスト	- (円/ )		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	3	3	-				
	計	3	3					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	毎年度の社会支出集計とともに、社会保障給付費及び財源データの集計を継続的に行う事業であり、過去の時系列データの整備を通じて、わが国の社会保障制度の現状や推移を示す基礎的データを提供している。その成果は、各種政策立案の基礎資料等として活用されており、国際比較を行う上でも特に重要な公的統計と位置付けられていることから、国費を投入する必要がある事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	上述のとおり、国の責任において実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	社会保障費用統計として基幹統計指定されたこともあり、優先度は高い。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	契約金額が少額のため、見積合わせにより競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業で集計したデータは、研究所のホームページ上にも掲載し、各種政策立案の基礎資料等として活用されており、事業の実施方法は適切である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業における「社会保障費用統計」の集計は、国際比較を行う上で特に重要な基幹統計と位置付けられており、「厚生労働白書」や「高齢社会白書」はもとより各種審議会の資料でも多く引用されている。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	平成24年度の研究評価委員会において、「社会保障に関する基礎的な統計は政策策定の基礎資料ともなるものであり、当研究所の重要な役割である」との評価を得ていることから、事業の必要性は高い。今後とも限られた予算額の中で、最大限の効果が得られるよう、継続的に予算執行の効率化を図るための必要な取り組みを実施することとする。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業は、社会保障政策の推進のため各種調査研究事業等に要する経費であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	617	平成23年	558	平成24年	495

国立社会保障・人口問題研究所  
3百万円

ホームページ作成、公表資料等印刷、書籍購入

C 事務費  
2百万円

[臨時研究補助職員賃金、書籍購入]

【随意契約】

A (株)アーバン・コネクションズ  
0.5百万円

[英文HP作成]

【随意契約】

B (株)祥文社  
0.1百万円

[公表資料等印刷]

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.臨時研究補助職員			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	臨時研究補助職員	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アーバン・コネクションズ	英文HP作成	0.5	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)祥文社	公表資料等印刷	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	臨時研究補助員	臨時研究補助員賃金	2		
2	(福)友愛十字会 友愛書房	書籍購入	0.01	随意契約	
3	(株)ぎょうせい	書籍購入	0.01	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					